

中上川彦次郎 （あがみはな） 實業家。嘉永七年閏八月十一日豊前國生れ、明治二十四年十月七日歿（二六五—一九〇二）。慶應義塾卒。宇和島藩洋館學校長等を経り、明治七年ネギリ大留學。歸國後工部省、次（あがみ）の外務省出任と、十四年の政變の下の『時事新報』社長兼主筆、山陽鐵道社長、更に二十四年ニ井銀行理事となり、財閥の改革・事業の擴大に努め、芝浦製作所、王子製紙、三浦炭鑛等の經營に關與。

文獻、白柳秀湖著『中上川彦次郎傳』（昭和十五年六月）二十六頁岩波書店）、日本経営史研究所編『中上川彦次郎伝記資料』（昭和四十四年十月十五日電洋経済新報社）等。

